

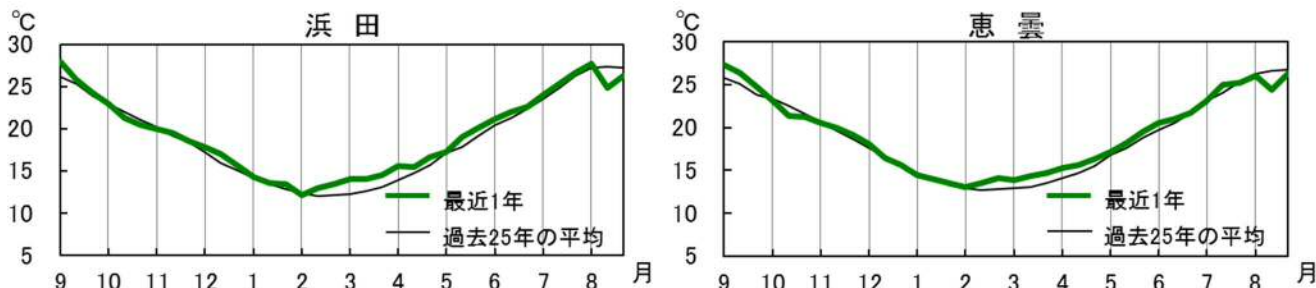


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《8月の海況》



8月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	26.3℃	-0.9℃	平年並み	25.6℃	-1.0℃
中旬	かなり低め			やや低め		
下旬	やや低め			平年並み		



《8月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の6割、サバ類は平年の7割でした。隠岐地区ではマイワシ、マアジ、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は24.5トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは996トンで平年の2.5倍、マアジは494トンで平年の1.4倍、ブリは406トンで平年の4割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の86%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は70.6kgで平年並みでした。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の80%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は33.5kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、アンコウ類、キダイを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は12.5トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、アカムツは平年の2.1倍、アンコウ類は平年の1.8倍、キダイは平年の1.4倍でした。その他、ヤマギムシガレイは平年の1.7倍、マトウダイは平年の1.5倍、マダイは1.2倍だった一方、アナゴ・ハモ類は平年の5割、ムシガレイおよびケンサキイカは平年の2割の水揚げでした。

【ばいご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に、総漁獲量は22.0トンと平年の1.4倍、1統1航海当たりの漁獲量は1.2トンで平年の1.4倍でした。エッチュウバイの漁獲量は20.0トンで平年の1.5倍、銘柄別では「中」、「中大」および「大」の3銘柄で全銘柄の約8割を占め、特に「大」は6.4トンと平年の1.5倍でした。

【しいら漬け漁業】

石見地区のしいら漬け漁業はシイラ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は800kgと平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、シイラは71.0トンで平年の6割、ヒラマサは3.2トンで平年の1割未満となりました。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、イサキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は15.3トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の1.5倍、イサキは平年の3.5倍でした。石見地区ではサバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は10.0トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1.0倍でした。隠岐地区ではヒラマサ、イサキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は4.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の5割、イサキは平年の1.2倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、キダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.0kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の4割、キダイは平年の1.1倍でした。石見地区ではケンサキイカ、キダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は22.5kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の8割、キダイは平年の9割でした。隠岐地区ではケンサキイカ、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は16.6kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の3割、カサゴ・メバル類は平年の8割でした。

【令和3年8月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			様 漁 模
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、マアジ、ブリ	2,330トン	92%	90%	24.5トン	136%	119%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	5.1トン	140%	48%	70.6kg	138%	71%	○
	西郷	スルメイカ	0.4トン	16%	4%	33.5kg	55%	38%	▲
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、アンコウ類、キダイ	150トン	126%	112%	12.5トン	115%	113%	◎
ばいかご	石見	エッチュウバイ	22.0トン	194%	141%	1.2トン	151%	139%	◎
しいら漬け	石見	シイラ	76トン	52%	47%	800kg	61%	62%	▲
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、イサキ	199トン	147%	99%	15.3トン	147%	99%	○
	石見	サバ類	40トン	119%	71%	10.0トン	119%	71%	○
	隠岐	ヒラマサ、イサキ	13トン	35%	40%	4.5トン	35%	40%	▲
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、キダイ	22.9トン	76%	51%	20.0kg	113%	90%	○
	石見	ケンサキイカ、キダイ	26.3トン	110%	74%	22.5kg	159%	128%	◎
	隠岐	ケンサキイカ、カサゴ・メバル類	8.7トン	40%	48%	16.6kg	80%	85%	▲

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ